

お知らせ

資料提出先：鳥取県政記者クラブ 倉吉記者クラブ

## 「天神川本泉・今泉改修事業 河戸橋完成記念式」 を行います。

天神川の本泉地区・今泉地区の河川改修事業及び河戸橋の完成を記念して、三朝町・鳥取県・国土交通省の共催による記念式典及び記念行事を行いますので、お知らせします。

記念式典 場所：三朝町総合文化ホール  
日時：平成25年3月20日（水）10時より

記念行事 場所：河戸橋周辺  
日時：平成25年3月20日（水）11時10分より  
実施内容：親子三代渡り初め（三朝中学校吹奏楽部の演奏）、記念植樹

※賀茂保育園児が描いた河戸橋の絵を橋に飾り付けます



### 問 い 合 わ せ 先



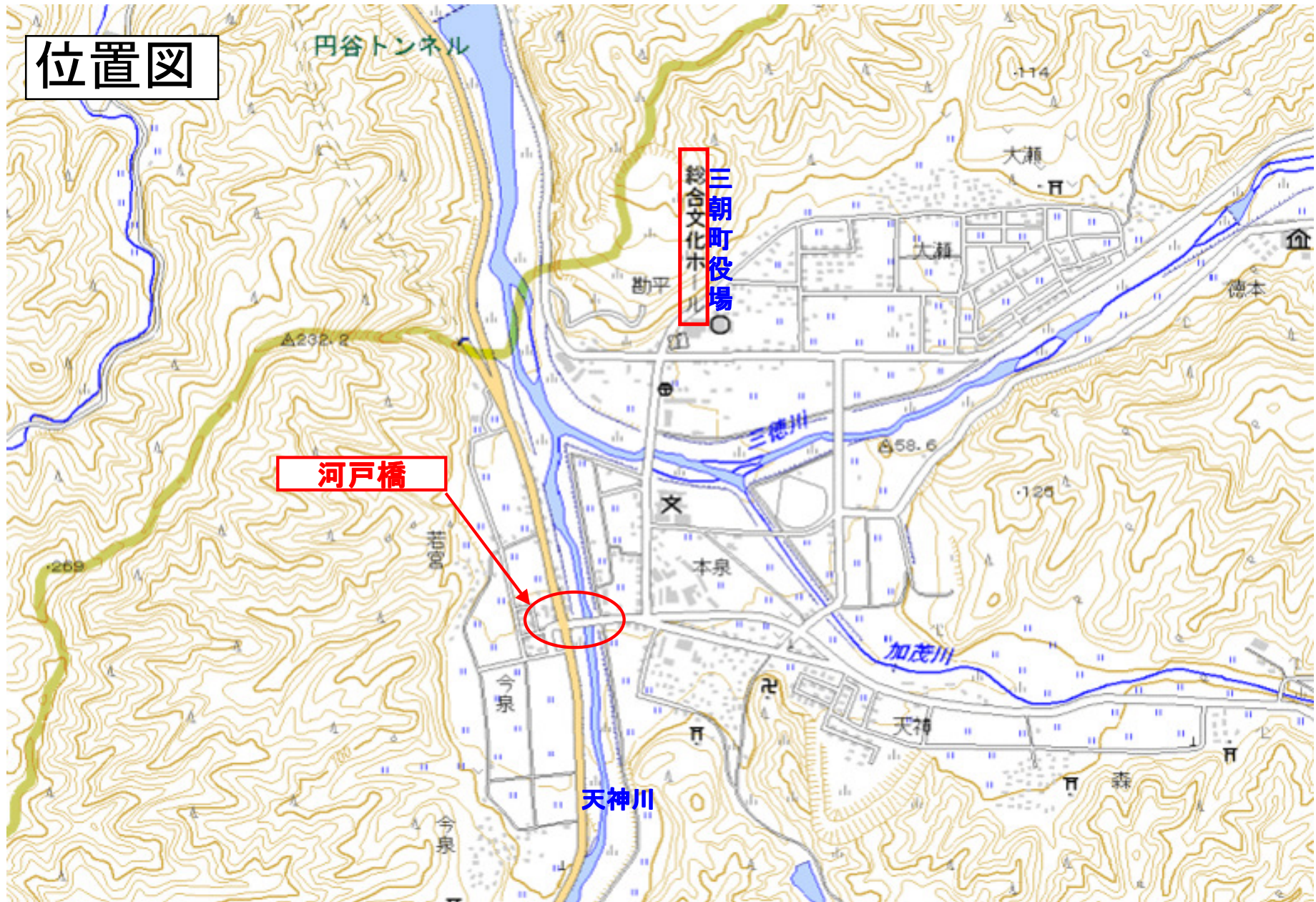
国土交通省 中国地方整備局  
倉吉河川国道事務所

TEL 0858-26-6221（代表）

副 所 長 横林 直樹（よこばやし なおき）

工務第一課長 田原 衛（たばら まもる）

# 位置図



## ～天神川本泉・今泉改修事業～

(参考資料)

天神川の治水事業は、昭和9年9月の室戸台風による大水害を直接的契機として開始されました。それ以降、無堤地区における堤防の整備、既存堤防の幅寄せやかさ上げ、流水の流れる断面を増加させるための河道掘削、急流河川特有の強大な流水作用から堤防を保護するための護岸工事や洗掘対策工事等を、継続的に実施してきました。

三朝町本泉（右岸）及び今泉（左岸）地区を流れる天神川においても、河戸橋の影響や、流水の流れる断面が不足していることから、河道掘削及び河戸橋架け替えを行い、安全・安心の向上に取り組んでまいりました。

このたび当地区の河道掘削及び河戸橋架け替えが完成をむかえ、地域の皆様の利便性の向上・交通安全の確保はもとより、治水安全度が大きく向上し、当地区においては天神川の当面の目標流量である、昭和34年伊勢湾台風程度の洪水を安全に流下させることが可能となりました。

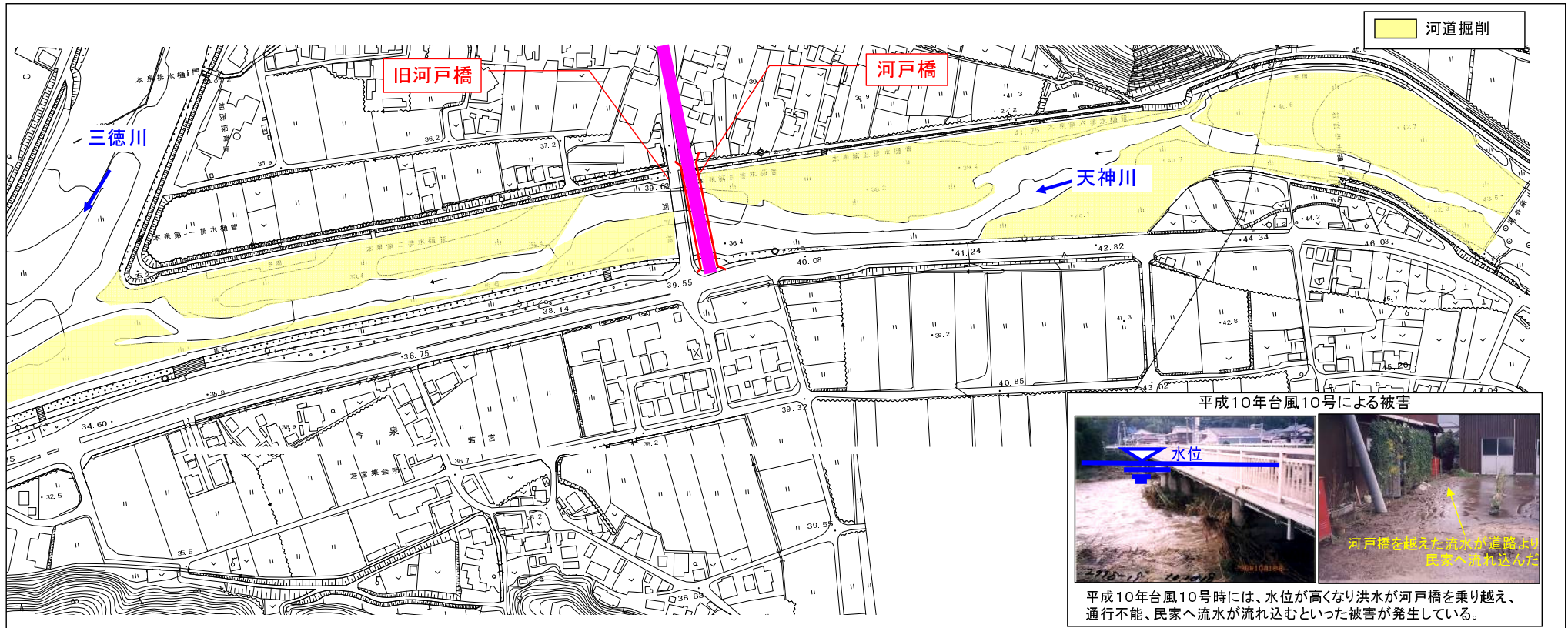
### 経緯

- ・平成19年度 河戸橋下流部河道掘削
- ・平成20年度 取付道路部用地買収
- ・平成21年度 左岸側橋台1基、橋脚1基
- ・平成22年度 右岸側橋台1基、橋脚1基、上部工製作
- ・平成23年度 上部工架設、取付道路
- ・平成24年度 旧橋撤去、河戸橋上流部河道掘削

※河道掘削のみ国土交通省単独事業、その他は鳥取県との合同事業

### 事業費

- ・河戸橋改築 約6.2億円  
(国土交通省 約2.8億円、鳥取県 約3.4億円)
- ・河道掘削 約1億円(国土交通省単独)



# ～河戸橋架替事業～

(参考資料)

## 事業目的

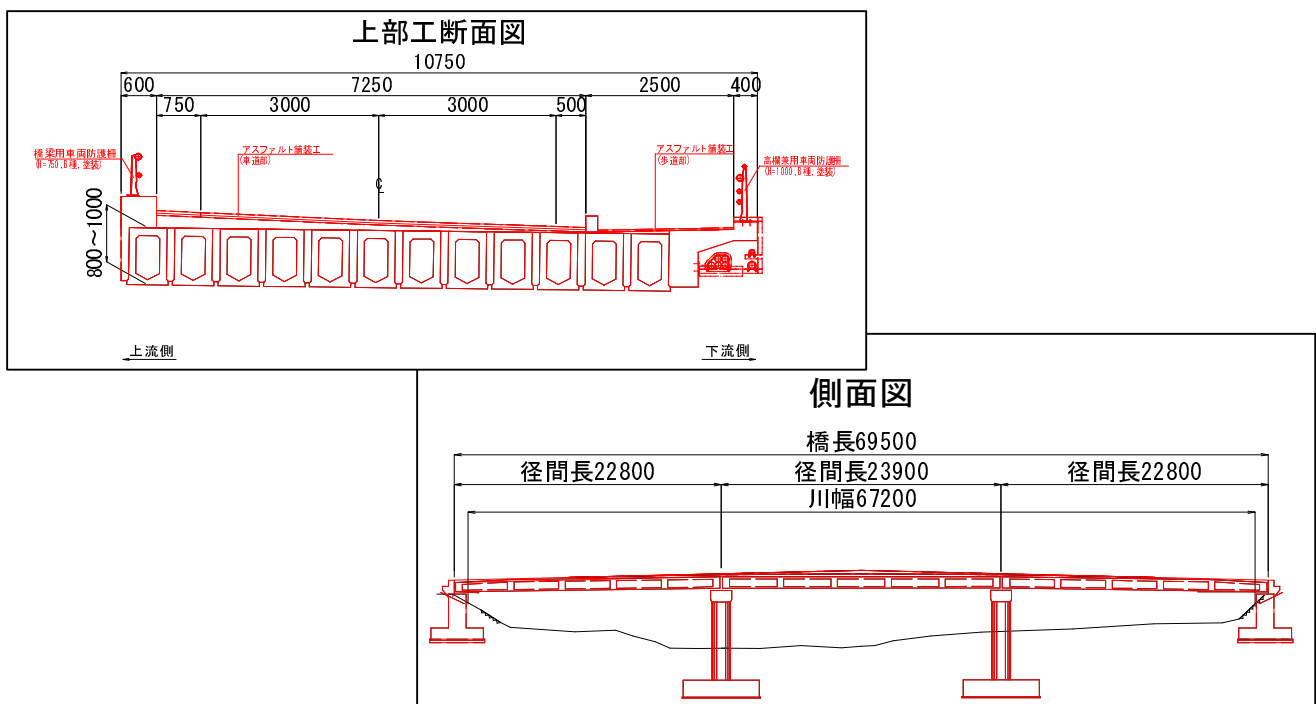
天神川に架かる河戸橋は、山陽及び京阪神から三朝温泉へのアクセス道路となっている県道 木地山倉吉線の一部であり、沿線には教育施設等の公共施設も多く、併設された河戸橋歩道橋とともに、古くから地域住民にとって重要な生活基盤及び観光道路として利用されてきました。

旧河戸橋は、昭和34年に建設されたものですが、老朽化が進むとともに、幅員も狭く、また、桁下、径間に余裕がないことから、平成10年の台風10号では洪水が橋桁まで到達し、民家へ流れ込むなどしたため、早期改良が急務となっていました。

そこで、国土交通省が実施する天神川改修事業と併せ、新たに片側歩道付、車道2車線の橋として架け替えるものとし、幹線道路として災害に強く、安全で円滑な交通の確保を目的に事業が実施されました。

## 橋梁概要

路線名	一般県道木地山倉吉線
道路規格	第3種3級
設計速度	40km/h
橋梁延長	69.5m
橋梁幅員	10.75m (車道有効幅員7.25m、歩道有効幅員2.5m)
上部形式	PC3径間連結プレテンション方式中空床版橋
下部形式	逆T式橋台 2基、壁式橋脚 (小判型) 2基
基礎形式	直接基礎



## プレテンション方式中空床版橋

プレテンション桁とは、プレの「あらかじめ」と、テンションの「緊張」に由来した橋梁で、橋桁を造る工場で、あらかじめ緊張したPC鋼材にコンクリートを打設して、主桁を造る工法です。

プレテンション桁は、「T桁」・「ホロー桁 (中空床版)」と呼ばれる2種類の桁が一般的であり、河戸橋では比較検討した結果「ホロー桁 (中空床版)」を採用しています。仮設方法としては、工場で製作されたプレテンション桁をトラックで運び、大型クレーンで架設を行いました。